

声はどのように伝わるのか？ —arousal, valence, and voice quality

音声科学の分野で、感情や発話意図とその音声的表出について長年最先端のご研究を行ってきたドナ・エリクソン先生による講演会をおこないます。特に、今回は感情を表す声が様々な言語の話者によってどのように伝わるのかということに焦点を当て、表出と知覚の接点を探ります。言語・文化比較を音声の側面から探るための様々な話題提供をしていただきます。

日時：5月24日（水）12：20～13：15

場所：B313及びZOOM

講師：ドナ・エリクソン（DONNA ERICKSON）

（ハスキンス研究所・研究員）

使用言語：英語

申込方法：お申し込み専用フォーム

<http://bit.ly/Promis20230524>

こちらのQRコードからもお申し込み可能です→



講師略歴

コネチカット大学言語学（音声学）博士号取得後、オハイオ州立大学研究員、岐阜市立女子短期大学教授を経て、昭和音楽大学教授（2012年退官）。2013年よりハスキンス研究所客員研究員、金沢医科大学客員教授として、精力的に研究を続けている。専門は音声科学。特にイントネーションやリズムなど言語の韻律（プロソディー）や感情表出について音響学的、音声生理的研究を中心に行なっている。

お問い合わせ：林 良子 (rhayashi@kobe-u.ac.jp)